

フレスコジクレー取扱説明書

この度は、本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。本説明書に記載されている注意事項、およびプリンタ本体の取扱説明書をお読みになり、正しくご使用ください。

フレスコジクレーの特徴

○フレスコジクレー（以下、**FG**と表記）の印刷層は未硬化の漆喰です。その主成分は消石灰であるため、印刷後空气中に放置すると、空气中の CO_2 と徐々に反応し硬化します。硬化した印刷層は、熱、湿気に強く、高い耐光性を持っています。

消石灰の硬化反応



○空气中の CO_2 との反応によって硬化する際に色材（顔料インク）を包含するため、紫外線などから色材が保護され、優れた耐光性を発揮します（フレスコ画の原理と同じことが起きていますと考えられます）。

印刷後、残ったFGの保管について

○FGは、印刷面が未硬化の漆喰であるため、開放状態で放置すると徐々に空气中の CO_2 と反応して炭酸カルシウムへ変化します。印刷前に、表面が炭酸カルシウムに変化した場合、印刷特性が悪くなる場合がありますので、その日のプリント作業の終了後は、 CO_2 との接触を抑えるために元の梱包状態に戻して保管してください。

- ①残ったFGは、同梱の保護フィルムで包み、テープで留めた後、はみ出した保護フィルム両端部を紙管の中に入れてください。
- ②①を同梱の筒状の白いポリ袋に入れ、輪ゴムでしっかり閉じ、両端部を紙管の中に入れてください。
- ③同梱のプロテクターを②の紙管の両端に取り付け、製品の外装箱に入れてください。
- ④高温・多湿・直射日光を避け暗所に保管してください。

印刷時のご注意

- FGは、湿度の高い条件下では反りが発生する場合があります。多湿の環境（相対湿度60%以上）でのご使用は避けてください。
- 印刷面は、ロールの外側です。
- 印刷前には、印刷する長さだけロールから引き出して柔らかい刷毛などで紙粉（漆喰の粉）を除去した後、プリンタにセットしてください。
- FG先端がカールしていてプリンタへセットしにくい場合は、吸着力を弱めてセットしてください。詳しいセット方法は、プリンタ本体の取扱説明書を参照してください。
- 印刷面は消石灰が主成分のため、強い力を掛けると折れてしまいます。プリンタへのセット時など取り扱いには注意してください。
- FGの先端が折れていたり、反ったり、波打っていたりしている場合は、その部分を切り落としてから印刷してください。そのまま印刷すると、FGの汚れやプリンタの故障の原因となります。
- FGの先端が長辺に対して垂直でまっすぐな切り口になっていることを確認してください。斜めや凸凹になっていると、正しく供給されず、FGからはみ出して印刷されることがあります。
- FGは、印刷層が未硬化の漆喰のため、紙粉（漆喰の粉）が出やすい傾向があります。排紙バスケット内に紙粉が溜まるのを避けるために定期的に排紙バスケット内を清掃してください。
- プリンタのオートカッターは使用できません。FGをカットするには、印刷後【用紙送り】スイッチを押してカットする位置まで用紙を送り出し、はさみやカッターなどを使って手でカットしてください。カットする際には、印刷面に汚れや傷をつけないように、また手を怪我しないように、綿製の手袋の使用をおすすめします。

- 排紙バスケットに付いている排紙フィルム（黒い帯状のフィルム）は印刷面を傷つける恐れがあるため、取り除いて印刷してください。
- 印刷パターンによっては印刷ムラが発生する場合があります。
- 本製品は自然素材のため、原材料に起因する異物が混入されている場合や、製法に起因する表面のテクスチャーのムラが発生する場合があります。
- 印刷途中にインク交換等で一時停止してから印刷再開した場合、横スジ状のムラが目立つ場合があります。

シートの取り扱いについて

- FGの印刷面には触れないようにしてください。手の水分や油分が印刷品質に影響します。取り扱いの際は用紙の端を持ってください。また、綿製の手袋をして取り扱うことをおすすめします。
- FGが梱包されていた個装袋・個装シート・個装箱などは、保管時に使用しますので破棄しないでください。

プリンタの設定について

- 適用プリンタは、水性顔料インクジェットプリンタ（エプソン **PX・MC・SC** シリーズ他、キヤノン **PRO** シリーズ）
- プリンタドライバの用紙種類は、エプソン「UltraSmooth Fine Art Paper」、キヤノン「ファインアート紙」をお使いください。
- 印刷条件によって滲みが発生する場合があります。その場合はインク濃度を-10%にして滲みを回避してください。
- 四辺フチ無印刷には対応していませんので設定しないでください。
- 巻取り印刷は裏移りが発生しやすいため、自動巻取りを使用しないでください。
- 黒インクは【マットブラック】を使ってください。

印刷したFGの取り扱いと展示について

- 印刷直後は、インクの水分により印刷前と比べて柔らかくなる場合がありますので、折れないように注意してください。
- 印刷直後は、インクが乾燥していません。印刷面に触れることのないよう、また、重ねないように取り扱いってください。インクが乾燥した場合でも、擦るとインクが剥げることがありますので、できるだけ印刷面には触れないようにしてください。特に **Type S** は **Type R** と比べて表面が傷つきやすいので、印刷後の取り扱いには十分注意してください。
- 印刷後のインクの乾燥時間は、一昼夜以上を目安にしてください。
- 印刷後のインクの色変化は、3時間程度で一定の領域に近づきます。色が完全に安定するまでには1週間程度かかることがあります。
- 印刷後、顔料が浸透した未硬化の漆喰はゆっくりと空气中の CO_2 と反応し、約1週間で顔料粒子を取り囲む形で **CaCO₃**（炭酸カルシウム）層を形成します。
- 漆喰はアルカリ性のため、稀に空气中の特定の化学物質と反応して変色する場合があります。
- ガラス無しでの展示の場合、長期的なメンテナンスを考慮し、ホルベイン製の「**スプレー フィキサチフ (300ml エアゾール)**」による印刷面のコーティングを推奨します。同コーティングは、印刷後、インクが完全に乾燥してから実施してください。
- FGをパネル化して展示や保存をする場合、下地と接着する両面テープは、アクリル系の両面テープを推奨します。

製造元

株式会社 トクヤマ

- 本取扱説明書に記載されている内容は、本製品の適用結果を保証するものではありません。
- 本取扱説明書に記載されている数値は、測定の代表例です。

2024年2月